

TS カレッジレポート

vol.7
2011.10

東京聖栄大学報



東京都食育フェア出展 (代々木公園 H22.10.10)

● C O N T E N T S ●

大学トピックス	2・3	校友会／後援会・聖栄会／公開講座	10・11
学位記授与式・入学式／研究／人事異動	4・5	平成22年度決算報告	12・13・14
管理栄養学科・食品学科の活動	6・7	教育研究施設設備拡充資金	14
学生支援センターの活動	8	大学附属わたなべ幼稚園／学生募集要項	15
キャリア・就職サポート	9	Student's view	16

大学トピックス

『建学の精神』『校訓』の制定

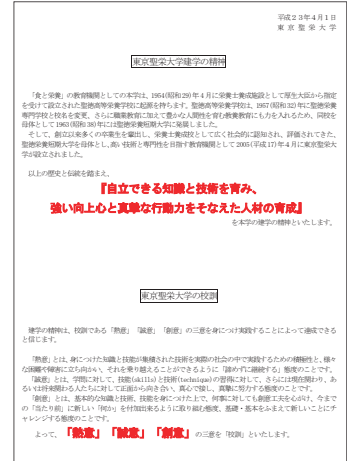
本学は、平成23年1月26日の理事会において「建学の精神」と「校訓」を制定しました。
建学の精神：「自立できる知識と技術を育み、強い向上心と真摯な行動力をそなえた人材の育成」

校訓：新しい校訓は、建学の精神を具現化するために、本学の校是である三意から引用した「熱意」「誠意」「創意」としました。

「熱意」とは、身につけた知識と技能が集積された技術を実際の社会の中で実践するための積極性と、様々な困難や障害に立ち向かい、それを乗り越えることができるように「諦めずに継続する」態度のことです。

「誠意」とは、学問に対して、技能 (skills) と技術 (technique) の習得に対して、さらには現在関わり、あるいは将来関わる人たちに対して正面から向き合い、真心で接し、真摯に努力する態度のことです。

「創意」とは、基本的な知識と技術、技能を身につけた上で、何事に対しても創意工夫を心がけ、今までの「当たり前」に新しい「何か」を付加出来るように取り組む態度、基礎・基本をふまえて新しいことにチャレンジする態度のことです。



管理栄養士国家試験合格率上昇 (平成23年3月卒業生合格率82.3%)

3月20日実施の第25回管理栄養士国家試験合格率は82.3%と全国平均82.1%を上回った。この成績は、最後の最後まであきらめないⅢ期生の並々ならぬ努力が大きな結果を残すこととなった。

大学では、今年度も年間を通した特別補講に加え、模擬試験15回、夏期講習10日間、直前講習10日間を予定している。7月には全員を対象とした個人面談、3者面談を実施し早期に合格への動機付け・意識付けを行った。9月からも後期の対策として特論をはじめとして個人面談を充実させていく。

また今年度の受験生は、自ら更なる合格率の向上を目指し、特講の授業と連動させた理解力に重点を置いたグループ分けによる自主学習に取り組んでいる。学生、教職員ともに合格率の向上を目指し、2月末までに模擬試験で140点とれるよう取り組んでいる。



管理栄養士国家試験対策講座

食事情海外視察研修

2月10日～17日にフランス (リヨン・パリ) への食事情海外視察研修を実施した (参加人数: 34名)。リヨンでは市場視察、お菓子工場見学、料理学校にてフランス料理の調理実習等を行った。パリでは有名食材店(エディアール、フォ

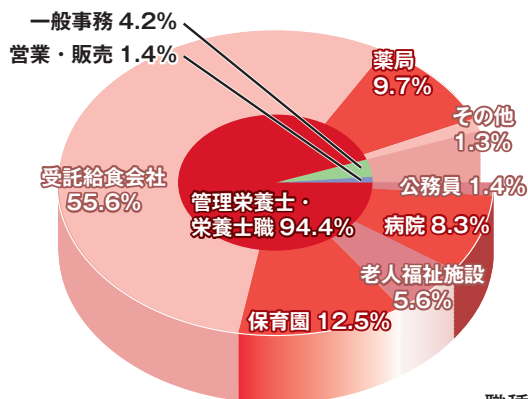
ション、ルノートル等)の視察、パリジェンヌが通うマルシェ (市場) の見学、ブリーチーズ製造工房やシャンパンカーブの見学等を行った。



好調なⅢ期生(平成23年3月卒業生)の就職状況 (就職率93.8%)

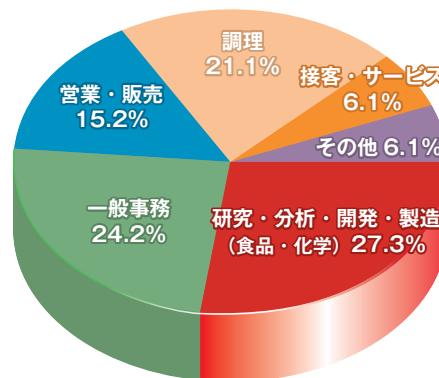
●管理栄養学科 (就職率93.5%)

〈就職者72人／就職希望者77人／卒業者92人〉



●食品学科 (就職率94.3%)

〈就職者33人／就職希望者35人／卒業者48人〉



職種別就職先グラフ

避難訓練の実施

本学は大学開設以来、学生を含めた防災訓練は実施していなかったが、平成22年10月13日に本田消防署及び葛飾区防災課のご協力をいただき、火災発生時の学生の避難・誘導（安全の確保）を目的として訓練を行った。

当日は、授業時間中である16時に実験室にて火災が発生したと仮定し、広域避難場所に指定されている新小岩公園への避難経路の確認も含め、1年次生を中心に実施された。

また、避難とは別に負傷者の応急手当てについても訓練を受けた。

万が一の事態に備え、今後も継続的に実施していきたいと考えている。



本田消防署の協力



新小岩公園へ避難

東日本大震災への対応

震災当日の3月11日は長期休暇中であったが、学内には管理栄養士国家試験に向けて勉強をする4年次生や部・同好会活動に来ていた学生がいた。地震発生後、交通機関がすべてストップし、復旧の見込みも立たないため、不安を抱えたまま学内で一晩を過ごすこととなった。翌日の交通機関の復旧後は、学内に宿泊した学生は無事、帰宅した。

12日以降、学生支援センターを中心に、東北などの被災地出身の学生・保護者の安否確認や住居の被害確認を行い、全学生の無事と大きな物的被害も発生していないことが確

認された。本学は、3月15日に予定されていた卒業式の実施は困難と判断し中止を決定し、3月22日に卒業生と教職員のみによる学位記授与式を挙行了した。

4月開催のわたなべ奨学・奨励基金委員会にて、東日本大震災に関連し、経済的支援を必要とする学生に対して、奨学金（見舞金）を授与することが決定した。教授会の議を経て、新入生2名、3年次生1名の計3名を奨学生とすることになり、福澤理事長より奨学金が授与された。

学位記授与式・入学式

平成22年度 学位記授与式

3月15日(火)予定していた卒業式は、東日本大震災の発生により、震災の影響の厳しさ・拡大化に鑑み、現状における実施は不適切と判断し中止と決定された。

これに伴う措置として、卒業生及び教職員のみによる学位記授与式が、3月22日(火)10時30分から本学1号館4階講堂で行われた。

式に先立ち東日本大震災で亡くなった方々へ追悼の



震災に対応した学位記授与式

意を表して、黙祷が捧げられた後、開式した。

初めに学位記授与、各種表彰と続いて学長訓辞があり、管理栄養学科92名、食品学科48名、計140名の卒業生が新たに社会へと巣立った。

式後は卒業生を祝う集いとして、管理栄養学科は茶話会、食品学科は食事が行われた。



卒業を祝う茶話会

平成23年度 入学式

4月2日(土)、東京聖栄大学わたなべ記念館で、平成23年度入学式が挙行された。

午前10時30分より開式となり、健康栄養学部管理栄養学科99名、食品学科91名、合計190名の新生が式に臨んだ。式に先立ち東日本大震災で亡くなった方々へ、黙祷が捧げられた。

福澤美喜男学長の式辞では、去る3月11日の東日本大震災について触れ、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げた。また、本学の沿革と建学の精神および、校訓・校章について触れ、さらに、入学時から自習をする習慣を身につけ、前期まで基礎な実力を付け、後期からはじまる



専門教科についていけるよう学んでほしいと訓示され、これからの学生生活が健康的ですばらしいものになるよう祈っていると述べられた。

この後、新入生宣誓や来賓祝辞、祝電披露に続いて、最後に全員で校歌を斉唱し、式は滞りなく終了した。



研究

平成23年度 特別研究・共同研究・科学研究費

本学研究費取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしている。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、右表の通り採用決定した。

科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野に亘り、あらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする政府の「競争的資金」の1つであり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成が行われている。

現在、文部科学省、(独)日本学術振興会が公募・審査・交付業務を行っており、本年4月には、(独)日本学術振興会に新たに科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)が新設された。

このたび、平成23年度科研費申請に於いて、管理栄養学科橋場浩子教授の研究が採択された。

人事異動

(順不同 敬称略)

〈教 員〉

補職 平成23年4月1日付

学部長 教授 松本 信二 (重任)
 図書館長 教授 岡田 弘 (重任)
 管理栄養学科長 教授 阿左美章治 (重任)
 食品学科長 教授 丸井 正樹 (新任)

昇任 平成23年4月1日付

准教授 荒木 裕子
 ♪ 植松 節子
 ♪ 岡本 直也
 ♪ 渡辺 順子

採用 平成23年4月1日付

助教



佐川 敦子 (さがわ あつこ)

平成20年 昭和女子大学大学院生活機構研究科修士課程修了 修士 (学術)

東京栄養食糧専門学校助手等を経て本学専任助教

担当教科「調理学実習Ⅲ」「給食管理実習」「栄養情報実習」

助教



鈴木 等 (すずき ひとし)

平成22年 千葉工業大学大学院工学研究科博士後期課程修了 博士 (工学)

八千代中央病院、千葉工業大学工学部専門研究員を経て本学助教

担当教科「化学入門」「化学実験」「分析化学」「栄養学実験」

非常勤講師 (新規委嘱) 平成23年4月1日付

大中 佳子 (おおなか よしこ)

担当教科「給食経営管理論」

潜道 文子 (せんでう あやこ)

担当教科「経営学」

谷本 守正 (たにもと もりまさ)

担当教科「食品製造機械」

千葉 喜之 (ちば のぶゆき)

担当教科「簿記・会計論」

佐々木敬卓 (ささき ひろたか)

担当教科「食品包装」「食品表示と関連法規」

(平成23年8月1日付特任教授)

委託講師 平成23年4月1日付

PATRICIA YARROW (パトリシア・ヤロウ)

担当教科「英語コミュニケーションⅠ」「同Ⅱ」

退職 平成23年3月31日付

准教授 伊澤 正利

〈職 員〉

兼務 平成23年4月1日付

大学事務部長心得兼法人事務局次長 高橋 成彰

(平成23年8月1日付 大学事務部長兼法人事務局次長)

昇任 平成23年4月1日付

主任 谷内ひろみ 企画調整室

飯田真由美 総務課

鈴木 敦子 ♪

小船井 恵 財務課

岡田 修一 学生支援センター

高山 隆弘 ♪

森田 悦子 ♪

採用 平成23年3月1日付

西尾 征二 図書館

退職 平成23年3月31日付

相田 靖隆 (大学事務部長)

平澤 信子 (図書館)

平成23年度特別研究・共同研究・科学研究費一覽

代表申請者	研究別	研究課題
前田 宜昭	特 別	半脱脂米糠加工食品が生体の生理的調整機能に及ぼす影響について
岡本 直也	特 別	Songの多変量標本尖度を用いた正規性検定統計量
鈴木 和枝	共 同	わが国における糖尿病診療と教育活動の実態 (第5報) —2012年度全国アンケート調査より—
長須 正明	共 同	東京聖栄大学における初年次教育プログラムの開発—導入教育・リメディアル教育を中心にして—
橋場 浩子	共 同	煮物における食材中へのNaClの拡散に関する研究
松本 信二	共 同	東京聖栄大学におけるFD活動の推進 —学生による授業アンケートによる改善を中心にして—
荒木 裕子	共 同	茶類の成分分析と機能に関する研究 —とくに国産茶葉について (その3) —
橋場 直彦	共 同	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討 —特に運動習慣、食習慣および生活習慣病の家庭歴を中心に— (第3報)
新村真由美	共 同	食育サポーター事業in葛飾区
大塚 静子	共 同	カルシウムの体内利用に及ぼす飼料中の量ならびに質の違いについて (Ⅲ)
橋場 浩子	科学研究費 基盤研究(C)	おいしい煮物を作るための呈味成分の食材中への拡散に関する研究

管理栄養学科の活動

1. 新入生オリエンテーション

期 日：平成23年4月30日 場所：本学「多目的ホール」、各教室

参加者：管理栄養学科新入生99名、管理栄養学科教員助手23名、卒業生（現役管理栄養士）3名、3・4年次生21名。



阿左美学科長 “挨拶”



岡田教授 “仲間作り”



↑おやつで笑顔の1年次生↓



3人の卒業生
細渕 香里さん（I期生）
田口 真弓さん（I期生）
菅野 真衣子さん（II期生）
＜現職管理栄養士＞



鈴木三枝准教授 “管理栄養士について”



↑お弁当と先輩、先生との懇談↓



2. 国試対策特別講演会 平成23年6月25日



RDC 管理栄養士センター
CIO 青木敏氏による合格法講演

3. 国試対策模試日程

平成23年度

5/14	学内総合模試①	11/12	RDC全国統一模試②
6/4	RDC全国統一模試①	11/26	医歯薬全国統一模試③
7/9	学内総合模試②	12/3	学内総合模試⑤
7/20	医歯薬全国統一模試①	1/22	医歯薬全国統一模試④
9/17	夏期課題研究	2/8	学内総合模試⑥
9/24	学内総合模試③	2/18	RDC全国統一模試③
10/8	医歯薬全国統一模試②	3/3	学内総合模試⑦
10/22	学内総合模試④	3/18	第26回国家試験

食品学科の活動

1. 食品学科の新たな発展

開学以来、着実に努力を重ね、入学定員を満たした今年度の食品学科。新学科長のもと、教職員の力を集結して、新たな発展を目指している。



2. 宿泊研修（新入生オリエンテーション）

新入生達は、4月15日から1泊2日で、市場見学（大田市場、築地市場）や浅草の食文化（カッパ橋散策）などの研修を通して、食品学科の教員と親睦をはかれたと思う。



3. フィールド研修

8月8日から2泊3日で、長野県伊那市を中心にフィールド研修を行った。地場産業の伊那食品工業の見学、野菜・果物の収穫、ソーセージの加工実習やそばうち実習も体験した。現地を体感することで深められた知見を今後の活動に活かしていってもらいたい。



4. インターンシップ研修先（平成23年度）

3年次生は29名がインターンシップを履修し、15事業所等に夏期休暇期間を利用し研修に出向いた。

アサマ化成(株)、(株)あさやホテル、(有)エルフィン・IN、葛飾区役所、(株)共立メンテナンス、ケミ・コム・ジャパン(株)、三求化学工業(株)、(株)中村屋 埼玉工場、福南食品工業(株)、(株)ヘクセンハウス、(株)みはる、山崎製パン(株)、ヤマザキナビスコ(株)古河工場、ユニテック・フーズ(株)、米屋(株)

学生支援センターの活動

農林水産省特別講演会

6月15日（水）、農林水産省大臣官房政策課の山口上席企画官をお招きし、『農林水産省特別講演会』を実施した。食料・農業政策に関することや食の業界を支えていく有為な人材の育成に関することなど、東日本大震災に関する情報を交えた講演となった。



マナー講座

6月24日（金）、学内で実施している『マナー向上運動』の一環として、今年度も新入生を対象にマナー講座を実施した。マナーとは何かやマナーのポイントを講義だけでなく実技を含めた講座内容で実施した。学生たちは楽しみながら熱心に学んでいた。



奨学金授与式

5月26日に入試成績優秀特待生・学業成績優秀奨学生として11名が選ばれ、福澤学長より奨学金が授与された。



学生との意見交換会

6月9日（木）、学生代表者12名（1年次生4名、2年次生4名、3年次生4名）と大学代表者15名による意見交換会が行われた。



食育イベント・地域共創

・何を、誰と、どう食べる

（社）日本フードスペシャリスト協会補助金事業「何を、誰と、どう食べる」（実施責任者：吉田講師、哥助手）を平成22年7月から平成23年1月の間、3回に渡って実施した。



・教えて！私の身体、大丈夫！？



『聖栄葛飾祭』において、「教えて！私の身体、大丈夫！？」を（社）全国栄養士養成施設協会後援（実施責任者：鈴木教授、高橋准教授、大塚助教）で実施した。

・東京都食育フェア

平成22年10月10日、代々木公園にて開催された東京都食育フェアにブース参加し、かつしか知っ得メモの展示や小松菜入りマドレーヌの販売等を行なった。



キャリア・就職サポート

学生支援センターでは、学生のそれぞれの能力や技量に合った進路が見いだせるよう、入学時から卒業後まで、きめ細かいキャリア・就職サポートを実施している。学内で実施している業界・企業説明会の参加企

業からは多くの内定を頂いている。

学生は、希望する進路決定の実現の為、積極的に学生支援センターを活用してください。

平成23年3月卒業生就職結果

Ⅲ期生（平成23年3月卒業生）の就職率（卒業希望者比）は、前年度と同様に厳しい新卒者採用環境において、学部合計で93.8%（管理栄養学科93.5%、食品学科94.3%）と高い数字となった。文部科学省が就職に関する集計をとり始めてから最悪の数字といわれる中、本学の就職内定率は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により、全国平均を上回る数字となった。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待する。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者（正社員）	72	33	105
就職未内定者	5	2	7
<就職希望者>	<77>	<35>	<112>
進学者	3	2	5
その他	12	11	23
卒業生	92	48	140

平成24年3月卒業生就職内定状況

今年度の新卒者就職内定状況は、就職情報会社によると、3月の東日本大震災の影響による企業側の採用活動の遅れの為当初低かったが、8月末現在、ほぼ前年度並みかやや高い数字となっている。本学4年次生の就職内定状況は、昨年度とほぼ同率の37.6%である。学科別では、管理栄養学科が46.5%、食品学科が17.9%と差が大きい。昨年も、同時期の集計では食品学科の内定率が悪く心配されたが、最終数字は管理栄養学科を上回った。

厳しい状況下において就職活動を行う学生の、今後の健闘を期待している。大学では、全力で就職支援を継続する。関係者のご協力をお願いいたします。

主な就職・進学先

【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

（公務員）川越市栄養士

（病院）（医社）桜水会 筑波病院、新小岩なか内科、東京医科歯科大学附属病院和同会、東京歯科大学千葉病院

（福祉施設）（社福）あたご会 天羽養護老人ホーム、サニーライフ 流山、（株）フォープロプス、（社福）佑啓会 ふる里学舎

（保育園）大禮保育園、亀戸浅間保育園、京急サービス（株）、こでまり保育園、さくら学園保育所、そあ保育園、東京自由保育園、なかよし保育園、東戸越保育園

（給食会社）アイビス（株）、石本商事、イフスコヘルスケア（株）、エムサービス（株）、（株）エム・ティー・フード、（株）グランディック、（株）グリーンハウス、（株）三総、シダックス（株）、西洋フード・コンパスグループ（株）、（株）東洋食品、日清医療食品（株）、富士産業（株）、ベストフードサービス（株）、（株）メフォス、（株）安田物産、（株）ヤマダ、（株）LEOC、（株）レバスト

（薬局）（株）住商ドラッグストアーズ、（株）セイジョー、セガミメディクス（株）、（株）阪神調剤薬局、（株）富士薬品

（その他）（株）日本プロポーション・アカデミー

<一般企業>

（株）アイネット、アサマ化成（株）、（株）あさやホテル、アドアーズ（株）、（株）アミーチ、（株）ウェアハウス、（株）江戸清、（株）王将フードサービス、おでん屋ベ亭、キッコーマンソイフーズ（株）、（株）くすりの福太郎、（株）コスモフーズ、（有）寿不動産、（株）コロワイドMD、（株）サンジェルマン、（株）ジェイプロジェクト、下田商事（株）、（株）新昭和、大東カカオ（株）、タカラ食品工業（株）、（有）天平フーズ、（株）トーエイビジコム、（株）虎昭産業、（株）ニッテイ、（株）華屋与兵衛、ヒューマンライフケア（株）、

（株）ファインズ東京、（株）フィールドサーブジャパン、（株）フィナンシャル・エージェンシー、藤田観光（株）（ホテルアジュール竹芝）、藤原運輸（株）、（有）松葉屋（松葉屋パン店）、（株）米八東日本

【進学】

東京農業大学大学院、聖徳調理師専門学校、東京栄養食糧専門学校

平成23年度主なキャリア・就職支援行事

実施月	行事名	対象
4月	新年度ガイダンス	全学年
	就職ガイダンス（就職業者）	3年
	ベネッセ就職模試「スタート」	3年
	ベネッセ就職模試「スタート」、YG性格検査	1年
5月	ベネッセ就職模試「キャリアアプローチ」	3年
	エントリーシート対策講座	3年
	ベネッセ模試・解説ガイダンス	1年
6月	ベネッセ模試・解説ガイダンス	3年
	YG性格検査解説ガイダンス	1年
7月	就職活動のためのマナー講座	3年
	公務員ガイダンス	全学年
	直営給食施設希望者ガイダンス	4年
	食品関係企業説明会	3年
10月（予定）	就職ガイダンス	3、4年
	キャリア支援ガイダンス	1、2年
	SPI対策インターネット講座（就職業者）	3年
	就職対策DVD上映会	3年
10月～12月（予定）	就職活動対策講座	4年
	キャリア支援ガイダンス	1年
11月～12月（予定）	公務員試験・SPI試験対策集中講座	1～3年
	就職活動のためのディスカッション講座	3年
2月（予定）	4年次生就職活動体験講話	3年
	学内業界・企業説明会	3年

学友会活動

会長挨拶



学友会会長 食品学科3年
萩原 雄治

この度、学友会会長に承認していただきました食品学科3年次生萩原雄治です。

学友会は、本学の校訓である「熱意」「誠意」「創意」の三意をもとに活動を行っています。聖徳栄養短期大学時代から諸先輩方が築いてきた歴史と伝統をさらに

発展させて、地域社会に還元できるように励んでいきます。

今後、『聖栄葛飾祭』など色々な行事が予定されています。行事以外にも地域の方との活動や、学生皆さんの学生生活の支援などをより多くの意見を取り入れながら全力で行っていききたいと思います。

日々努力してまいりますので、これからも学友会をよろしくお願い致します。

学友会総会・新入生歓迎会

4月13日(水)、学友会総会が開催され、新役員の選出、22年度決算報告及び23年度予算案、23年度活動計画等が承認され、萩原雄治会長による新体制が発足した。

学友会総会に引き続き開催された新入生歓迎会では、本学非常勤講師(現特任教授)・HIRO包装設計研究所所長の佐々木敬卓氏による『食品・包装と表示と私たち』と題する特別講演が行われた。



聖栄葛飾祭

11月5日(土)、6日(日)に今年の『聖栄葛飾祭』が開催される。今年の『聖栄葛飾祭』も例年と同様に葛飾区の後援、地元の協力等を得て、地元密着の大学祭として開催される。

今年のテーマは「Health&Beauty～食事から美しく！食事から健康に！～」に決定した。たくさんの方々のご来場を心よりお待ちしております。



体育祭

6月3日(金)に体育祭が開催された。1FBクラスが総合優勝を果たし学長杯を勝ち取り、副賞として聖栄会より賞金が授与された。また、全員出席の1FAクラスも聖栄会長賞として聖栄会より賞金を授与された。心配された天候も無事に回復し、歓喜につつまれた体育祭となった。



平成23年度 部・同好会一覧

部名	学生代表	
食品加工研究部	3NA	根本 美沙子
食品化学研究部	2FB	竹内 みどり
調理実習部	3NA	黒藪 成美
硬式テニス部	3NA	小林 令奈
合気道部	3NA	上原 徹
バレーボール部	3NA	東根 秀
バスケットボール部	2NA	五木田 周
華道部	2NA	染谷 千夏

同好会名	学生代表	
ダンス同好会	3FA	奈良 美里
バドミントン同好会	3NA	滝田 晃貴
軽音楽同好会	3FA	島田 夏基
あぐり	2NA	小笠原 彩乃
ソフトテニス同好会	4NA	江澤 摩美
フットサル同好会	3FB	島田 翔太
野球同好会	3NB	篠田 洋介
聖栄ピアヘルピングワークス	3NA	塚田 ひとみ
パン同好会	2FB	中村 卓登
吹奏楽同好会	3NB	堀越 真理
サッカー同好会	2FB	高梨 裕子
フェンシング同好会	3NA	春山 範光

後援会・聖栄会の活動



後援会会長
柳瀬 仁

東京聖栄大学も開学から7年目をむかえ第3期生も卒業しそれぞれの目標に向かって巣立っていきました。4月からは新一年生が加わり、より充実した活気ある大学に成長していることを感じます。

さて、後援会としましては有意義な学園生活が過ごせるよう、また大学の発展向上のため、大学と在学生保護者との密接な連携を図り、教育事業や課外活動等の支援を行ってまいります。

具体的には、大学の教職員の皆様との懇親会の開催や、学友会活動の補助、就職・社会活動への協力、後援会会報の発行その他を通して後援会活動を盛り上げていきたいと思っております。



聖栄会会長
荻野 薫子

東日本大震災から6月18日で100日、その日も余震が2回ありました。この震災では、壊滅的な被害もたらされ、無残にも日捲りが3月11日のままで残骸の中から現れ、心が痛みます。

そのような折、3月の卒業式は例年通り行われず、学位記授与式が挙行され、東京聖栄大学第3期生140名の皆様を聖栄会会員としてお迎えすることが出来ました。ご卒業を心からお喜び申し上げます。

聖栄会では、昨年より体育祭に後援参加し、会長賞とチームワーク賞を贈呈させていただきました。聖栄葛飾祭では、在学生と会員の交流の場として、お抹茶席を設けます。どうぞ皆様ご来場ください。母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

後援会の主な活動

平成23年度

- 保護者懇談会開催（10月1日（土））
保護者と教職員の情報交換会
- 後援会報の発行（年2回発行予定）
（10月1日付）（3月15日付）
- 会議の開催

定期総会	4月2日（土）
役員会	6月11日（土）
	3月下旬
役員四役会	2月下旬

聖栄会の主な活動

平成23年度

- 4月 聖栄会便りの発刊
- 5月 体育祭に聖栄会より各賞を贈呈
- 6月 定期総会並びに懇親会の開催
- 10月 第23回食文化研究会の開催（10月2日）
「パスタ・ハウスAWキッチン」にて研修
- 11月 聖栄葛飾祭への参加
学友会主催の餅つきに後援お茶席の開催
- 3月 第4期卒業生に卒業記念品の贈呈〈役員会の開催〉
全体役員会は年2回開催（10月、1月）
その他役員会は随時開催

平成23年度 公開講座

平成23年度公開講座は、7月から8月にかけて、全3回の連続講座「大学健康栄養講座 中高年女性のためのフレッシュ生活」を実施しました。管理栄養学科准教授・渡辺順子先生（全3回）と植松節子先生（第2回のみ）が講師となり、本学管理栄養学科学生も共修する講座スタイルは、受講生からも好評を博しました。なお、本学の公開講座は昨年に引き続き、葛飾区

で開設している「かつしか区民大学」の講座としての指定を受けています。

また、姉妹校の聖徳調理師専門学校では12月に「調理実習講座 ブッシュ・ド・ノエル」を予定しています。詳細につきましては大学ホームページをご覧ください。
http://www.tsc-05.ac.jp/area_lecture/lecture/



平成22年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

財務担当理事 小林 壯一

平成22年度決算による本法人の財政状況は、収入の増加、支出抑制の予算編成を行い、適切な予算管理、予算執行に努めた結果、収入面では、学生納付金、手数料、寄付金、補助金などが増収になり、また、支出面では、人件費支出のうち退職金が近年稀な多額支出となったため大幅な増額となったが、教育研究経費、管理経費、施設設備費などが予算内で賄えたことにより、消費収支計算の帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は3400万円の支出超過で収まり、前年度の支出超過額4800万円を下回り、収支状況は若干改善された。

1. 資金収支計算書

資金収支の決算規模は、31億500万円となり、前年度比5800万円の増となった。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は12億3500万円であり、これに対する当年度支出額は12億5000万円となった。次年度繰越支払資金は18億5500万円になり、前年度比1500万円減になっている。

資金収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位 千円)

収入の部	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金収入	994,301	1,003,922	△ 9,622
手数料収入	15,354	22,927	△ 7,573	
寄付金収入	4,750	7,900	△ 3,150	
補助金収入	139,212	139,212	0	
国庫補助金収入	93,663	93,663	0	
地方公共団体補助金収入	45,549	45,549	0	
資産運用収入	20,990	17,071	3,919	
資産売却収入	90	105	△ 15	
事業収入	17,300	8,405	8,895	
雑収入	75,928	75,790	138	
前受金収入	447,948	466,314	△ 18,366	
その他の収入	31,181	29,509	1,672	
資金収入調整勘定	△ 530,775	△ 536,111	5,336	
前年度繰越支払資金	1,870,394	1,870,394		
収入の部合計	3,086,673	3,105,438	△ 18,766	
支出の部	科目	予算	決算	差異
	人件費支出	778,000	769,257	8,743
教育研究経費支出	244,843	240,681	4,162	
管理経費支出	105,404	104,344	1,060	
借入金等利息支出	3,299	3,299	0	
借入金等返済支出	12,220	12,220	0	
施設関係支出	29,010	26,730	2,280	
設備関係支出	48,500	42,473	6,027	
資産運用支出	50,000	52,145	△ 2,145	
その他の支出	21,948	20,826	1,122	
〔予備費〕	10,000		10,000	
資金支出調整勘定	△ 21,044	△ 21,904	859	
次年度繰越支払資金	1,804,493	1,855,367	△ 50,874	
支出の部合計	3,086,673	3,105,438	△ 18,766	

2. 消費収支計算書

帰属収入は12億7800万円であり、前年度比9200万円増となった。帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入合計額は12億1400万円となった。これに対して、消費支出の合計額は13億1200万円であったので、当年度の消費収支計算における消費支出超過額は9800万円となった。前年度からの繰越支出超過額が3億8000万円あるので、翌年度繰越消費支出超過額は、4億7800万円となった。

消費収支計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位 千円)

消費収入の部	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	994,301	1,003,922	△ 9,622
手数料	15,354	22,927	△ 7,573	
寄付金	7,950	10,516	△ 2,566	
補助金	139,212	139,212	0	
国庫補助金	93,663	93,663	0	
地方公共団体補助金	45,549	45,549	0	
資産運用収入	20,990	16,953	4,037	
資産売却差額	90	105	△ 15	
事業収入	17,300	8,459	8,841	
雑収入	75,928	75,799	129	
帰属収入合計	1,271,125	1,277,893	△ 6,768	
基本金組入額合計	△ 46,000	△ 63,559	17,559	
消費収入の部合計	1,225,125	1,214,334	10,791	
消費支出の部	科目	予算	決算	差異
	人件費	758,000	748,767	9,233
教育研究経費	440,107	432,497	7,610	
管理経費	118,761	117,274	1,487	
借入金等利息	3,299	3,299	0	
資産処分差額	155	6,539	△ 6,383	
徴収不能額	0	3,612	△ 3,612	
〔予備費〕	6,000		6,000	
消費支出の部合計	1,326,322	1,311,988	14,335	
当年度消費支出超過額	101,197	97,654		
前年度繰越消費支出超過額	380,266	380,266		
翌年度繰越消費支出超過額	481,463	477,920		

3. 貸借対照表

22年度末の資産の部合計は94億6200万円とり、前年度より5500万円減少した。負債の部合計は9億9400万円となり、前年度末比2100万円減少した。

基本金の合計額は89億4600万円になり、前年度比6400万円増となった。消費収支差額の部合計額は支出超過額が4億7800万円で、前年度比9800万円増となった。

貸借対照表 (平成23年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	7,528,934	7,636,852	△ 107,918
有 形 固 定 資 産	5,537,508	5,676,964	△ 139,456
土 地	1,889,400	1,889,400	0
建 物	3,199,173	3,315,686	△ 116,513
その他の有形固定資産	448,935	471,878	△ 22,943
その他の固定資産	1,991,426	1,959,888	31,537
流 動 資 産	1,933,364	1,880,362	53,002
現 金 預 金	1,855,367	1,870,394	△ 15,027
その他の流動資産	77,997	9,968	68,029
資産の部合計	9,462,298	9,517,214	△ 54,916
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	465,402	498,112	△ 32,710
長 期 借 入 金	158,860	171,080	△ 12,220
その他の固定負債	306,542	327,032	△ 20,490
流 動 負 債	528,887	516,999	11,888
短 期 借 入 金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	516,667	504,779	11,888
負債の部合計	994,289	1,015,111	△ 20,822
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	8,154,026	8,090,466	63,559
第 2 号 基 本 金	661,903	661,903	0
第 4 号 基 本 金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	8,945,929	8,882,369	63,559
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 477,920	△ 380,266	△ 97,654
消費収支差額の部合計	△ 477,920	△ 380,266	△ 97,654
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,462,298	9,517,214	△ 54,916

4. 財産目録

資産は、基本財産は62億6000万円、運用財産28億1400万円、収益事業財産3億9400万円で資産総額は94億6800万円である。負債は、固定負債4億6500万円、流動負債5億2900万円、収益事業用負債500万円で負債の部合計は9億9900万円である。

資産総額から負債総額を引いた正味財産は84億6900万円であり、前年度比3400万円減少した。

財産目録 (平成23年3月31日現在)

(単位 千円)

I 資産総額	9,468,212
内 基本財産	6,260,170
運用財産	2,813,718
収益事業財産	394,324
II 負債総額	999,440
III 正味財産	8,468,772

区 分	金 額
資産額	
1. 基本財産	6,260,170
有形固定資産	5,537,508
土 地	1,889,400
建 物	3,199,173
構 築 物	54,963
教 研 機 器 備 品	221,264
その他の機器備品	22,880
図 書	145,012
車 両	4,816
その他の固定資産	722,662
借 地 権	59,900
電 話 加 入 権	860
施設設備拡充引当特定資産	661,902
2. 運用財産	2,813,718
現金預金	1,855,367
定期預金	600,000
有価証券	251,426
差入保証金	9,028
退職給与引当特定資産	19,900
未 収 入 金	74,724
販 売 用 品	97
前 払 金	3,176
3. 収益事業用財産	394,324
土 地	185,313
建 物	186,900
構 築 物	627
機 器 備 品	14
現 金 預 金	21,078
前 払 金	392
資産の部合計 (A)	9,468,212

負債額	
1. 固定負債	465,402
長期借入金	158,860
退職給与引当金	306,542
2. 流動負債	528,887
短期借入金	12,220
未払金	17,959
前受金	466,313
預り金	29,478
研修旅行費預り金	2,917
3. 収益事業負債	5,151
前受金	0
未払法人税	151
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	999,440

正 味 財 産 (資産総額－負債総額)	8,468,772
------------------------	-----------

5. 6カ年連続消費収支計算書 (22年度)

平成17年度(大学開設)から22年度までの過去6年間の連続消費収支計算書は右表の通りである。

以上

6カ年連続消費収支計算書 (22年度)

	平成17年度(開設)		平成18年度		平成19年度		平成20年度(完成)		平成21年度		平成22年度		全国平均	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	医歯系を除く	
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
収入の部														
学生納付金収入	794,067	73.9	677,794	72.9	848,387	76.2	997,526	79.8	988,583	83.4	1,003,922	78.6	72.7	
手数料収入	21,273	2.0	22,763	2.5	22,087	2.0	16,229	1.3	17,243	1.5	22,927	1.8	2.6	
寄付金収入	16,218	1.5	30,084	3.2	12,569	1.1	10,242	0.8	7,567	0.6	10,516	0.8	2.5	
補助金収入	91,654	8.5	135,571	14.6	156,617	14.1	154,194	12.3	133,070	11.2	139,212	10.9	12.9	
資産運用収入	3,359	0.3	4,918	0.5	11,290	1.0	21,288	1.7	17,136	1.4	16,953	1.3	2.3	
資産売却差額	50	0.0	0	0.0	1,066	0.1	0	0.0	0	0.0	105	0.0	0.3	
事業収入	16,633	1.6	30,884	3.3	26,697	2.4	15,984	1.3	14,428	1.2	8,459	0.7	3.3	
雑収入	131,500	12.2	27,351	3.0	35,025	3.1	34,983	2.8	7,438	0.6	75,799	5.9	3.4	
帰属収入	1,074,753	100.0	929,365	100.0	1,113,739	100.0	1,250,446	100.0	1,185,465	100.0	1,277,893	100.0	100.0	
基本金組入額	△ 89,298	△ 8.4	△ 7,900	△ 0.9	0	0	△ 43,420	△ 3.5	0	0.0	△ 63,559	△ 5.0	△ 13.1	
消費収入合計	985,455	91.7	921,465	99.1	1,113,739	100.0	1,207,026	96.5	1,185,465	100.0	1,214,334	95.0	86.9	
支出の部														
人件費支出	848,866	79.0	703,187	75.7	663,828	59.6	704,202	56.3	678,503	57.2	748,767	58.6	52.6	
教育研究経費支出	363,950	33.8	375,315	40.4	399,930	35.9	425,455	34.0	422,643	35.7	432,497	33.8	30.9	
(うち減価償却額)	(159,874)	(14.9)	(185,166)	(19.9)	(193,945)	(17.4)	(191,706)	(15.3)	(190,414)	(16.1)	(190,782)	(14.9)	(9.8)	
管理経費支出	165,906	15.4	155,794	16.8	229,472	20.6	128,830	10.3	112,258	9.5	117,274	9.2	10.3	
(うち減価償却額)	(24,620)	(2.3)	(19,248)	(2.1)	(17,896)	(1.6)	(14,703)	(1.2)	(12,784)	(1.1)	(12,930)	(1.0)	(1.0)	
借入金利息支出	1,834	0.2	3,960	0.4	3,960	0.4	3,739	0.3	3,519	0.3	3,299	0.3	0.4	
資産処分差額	1,986	0.2	43	0.0	69,358	6.2	128,830	10.3	15,541	1.3	6,539	0.5	2.0	
徴収不能額	2,229	0.2	1,320	0.1	4,718	0.4	1,320	0.1	534	0.0	3,612	0.3	0.1	
(予備費)														
消費支出合計	1,384,771	128.8	1,239,619	133.4	1,371,266	123.1	1,266,485	101.3	1,232,998	104.0	1,311,988	102.7	96.3	
当年度消費収支差額	△ 399,316		△ 318,154		△ 257,527		△ 59,460		△ 47,533		△ 97,654			
前年度繰越消費収支超過額	△ 86,643		△ 485,959		△ 383,718		△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266			
基本金取崩額			420,395		170,935				197,037					
翌年度繰越消費収支超過額	△ 485,959		△ 383,718		△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266		△ 477,920			
人件費依存率		106.9		103.7		78.2		70.6		68.6		74.6	72.4	
人件費比率		79.0		75.7		59.6		56.3		57.2		58.6	52.6	
帰属収支差額比率		△ 28.8		△ 33.4		△ 23.1		△ 1.3		△ 4.0		△ 2.7	3.7	
消費収支比率		140.5		134.5		123.1		104.9		104.0		108.0	110.8	

(注) 全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人(医歯系を除く)21年度

教育研究施設設備拡充資金の募金について

本学は約五十年に亘って、「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会に貢献する数多くの人材を世に送り出してきました。しかし、社会の変遷は急を告げ急速に少子高齢化社会が到来し、保健、医療、介護など高齢者対策の中で欠くことのできない栄養管理の必要性が問われています。また、家庭における生活様式の変化に伴い食生活の多様化が進み、欠食、外食、孤食などの増加はあらゆる年齢層に波及し、生活習慣病は今や高齢層のみならず若年層にも影響を及ぼしており、乳幼児からの食育の重要性が指摘されています。食育基本法に基づく食育推進基本計画の推進や最近特に社会問題になった食品衛生・管理、食の安全性に関する諸問題などに対応し、また新食品の開発の促進などを行っていくためには、食と栄養に関する資質の高い知識と専門技術を習得した人材が求められています。

本学におきましては、こうした社会的要望に応え、急激に変遷する社会と共生し公共性の高い教育事業を通して大学としての社会的責任を果たしていくためには、更なる教育研究の高度化推進を図り教育研究環境整備充実を促進していく必要があります。

しかしながら、昨今の私学を取り巻く客観情勢は、少子化の影響や国庫補助金の減額などにより、一段と厳しさが増してきており、私学財政は新たな局面を迎えています。もとより本学園と致しましても財政基盤の確立に最善を尽くしていく所存ではありますが、新たな教育研究の発展向上を図っていくための施設設備の改善充実には限界がありますので、教育研究用施設の整備、実験・実習用機械・器具、備品の増設または更

新などに要する資金の相当部分は、在学生保護者、教職員、卒業生、民間企業など大学関係者並びに社会一般からの寄付金に頼らざるを得ないのが実情であります。

長引く経済不況の折から諸事ご多端のところまことに恐縮に存じますが何卒事情ご賢察のうえ、寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

募金要項

- 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため。
- 募金目標額：2千5百万円
- 寄付金額：1口 5万円
(なるべく2口以上を希望しますが5万円以下でも結構です。)
- 募集期間：平成27年3月1日まで
- 申込書・振込方法：本学園所定の用紙をご利用ください。
- お問合せ：事務局財務課募金係
TEL 03-3692-0211(代)
- ◎この募金は、税法上所得税の寄付金控除の対象となります。
(詳細については募金係までお問い合わせください。)

募金受入状況

平成17年度以降22年度までの募金受入状況は下表のとおりです。
この募金は、別口座にて積み立てられ募金の趣旨に則り教育研究施設設備充実のために有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額(円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	41	3,750,000
19年度	32	2,700,000
20年度	27	2,500,000
21年度	17	1,600,000
22年度	54	6,465,000
合計	204	20,165,000

大学附属 わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園は開園以来給食を通して幼児期の体力の向上、偏食の是正、衛生観念の育成、食事マナーの習得、近年はアレルギー食の対応等、食育活動を積極的に進めてまいりました。

保育者は子どもたちと一緒に野菜作りをしたり、紙芝居や絵本・エプロンシアターなどで食育指導をし、保育室で子どもたちに個人差を考慮しながら食事を勧める役割を担ってきました。

栄養士、調理員は子どもたちに「おいしい給食を食べさせたい」との強い思いで栄養バランスを考え、調理法や味付けを考慮しながら厨房で給食を作ることに専念してきました。

保育者と栄養士は役割分担がはっきりと決められたうえでの食育活動でした。しかし、今年度から「食育」を効果的に進めるためにも教職員全員が給食について相互理解を深めながら関わるようにいたしました。

栄養士も保育室に入り、食事を勧めたり指導もします。子どもたちと一緒に食事もします。子どもたちは給食を作ってくれた栄養士の顔を知り感謝の気持ち

を表します。何よりも保育者と栄養士の情報交換が一段と進み、協力しながら食育への取り組みがスタートしました。

今年度の食育年間目標である①食事のマナーを身につけて楽しく食べよう②3色食品群（赤・青・黄）を覚えようのテーマを子どもたちと一緒に楽しく進めていきたいと思ひます。

献立表とは別に配布している給食だよりの内容も充実させ保護者の方々にも連携・協力をお願いしてまいります。子どもたちの心身の健やかな成長を願いながら、日々努力していこうと思ひます。



平成24年度 東京聖栄大学 学生募集要項

東京聖栄大学 健康栄養学部（共学） / 管理栄養学科・食品学科（募集定員は両学科とも80名）

入試区分	募集人員		選抜方法	出願資格・試験教科等	試験日
	管理栄養学科	食品学科			
AO入試Ⅰ期	—	12名	受講感想文・面接・課題発表・調査書	全体の評定平均値不問、一浪可 (出願許可後は第一志望)	9月10日(土)・17日(日)
AO入試Ⅱ期	—	4名			10月15日(土)
指定校制推薦入試	15名	12名	面接・調査書	高等学校長推薦書、第一志望、 全体の評定平均値 管理3.5以上・食品3.0以上、一浪可	11月13日(日)
指定校制特別推薦入試	—	4名			
公募制推薦入試Ⅰ期	20名	10名	適性テスト・面接・調査書	高等学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均値不問、一浪可	
公募制特別推薦入試	若干名	2名			
卒業生子女等推薦入試	若干名	若干名	小論文・面接・調査書	推薦書、第一志望、全体の評定平均値 管理3.5以上・食品3.0以上、一浪可 高等学校長推薦書、第一志望 全体の評定平均値管理3.5以上・食品3.0以上、一浪可	12月11日(日)
公募制推薦入試Ⅱ期	若干名	4名			
一般入試Ⅰ期	25名	10名	学力試験・調査書	必須：「国語総合（近代以降の文章）」、「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 選択：「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目	1月28日(土)
一般入試Ⅱ期	10名	10名			2月3日(金)
一般入試Ⅲ期	4名	6名			2月24日(金)
センター利用入試Ⅰ期	4名	4名	平成24年度大学入試センター試験成績・調査書	必須：「国語」（近代以降の文章）、「英語」（リスニングを除く） 選択：「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目 ※Ⅱ、Ⅲ期は2科目受験	1月14日(土)
センター利用入試Ⅱ期	2名	2名			1月15日(日)
センター利用入試Ⅲ期	若干名	若干名			
社会人特別入試	若干名	若干名	小論文・面接・調査書	23歳以上、社会経験者	2月3日(金)

※指定校制特別推薦入試および公募制特別推薦入試は、専門高校・総合学科卒業生選抜入試です。※詳細は「平成24年度学生募集要項」で確認してください。

受験相談会

10/8 (土)

10/15 (土)

11/26 (土)

12/3 (土)

■開催時間：各回とも13：00～16：00 要予約 ■当日の内容：平成24年度入試の概要説明、個別相談、施設見学 他
※11月5日(土)、6日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)にて受験相談コーナーを開設します。

＜お問い合わせ先＞
学生支援センター入試相談室

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6
TEL：03-3692-0211 (代) TEL：03-3692-0238 (入試相談室 直通)
URL <http://www.tsc-05.ac.jp/> E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

Student's view

東日本大震災への義援活動

食品学科4年次生 江藤 伊織・河野 美希

3月11日に大地震が発生し、メディアを通して少しずつ明らかになってくる被害状況を知り、被災された方のために私たちが何か協力することは出来ないかと考え、義援金活動を行うことにした。企画・実施と難しい点多々あったが、被災地の一日も早い復興のためにとの思いで義援金活動を行い、多数の学生の協力を得ることが出来た。

集まった義援金は、大学の所在地である葛飾区を通して、被災県の復興に役立てていただくこととなり、6月9日に葛飾区役所を訪れ、青木葛飾区長に直接手渡した。区長と話をする中で、メディアからは伝わってこない被災地の惨状などを知ることが出来た。

今後も被災された方のために何かできることがないか

を検討し、実施出来たらよいと考えている。

被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



柴又宵まつりへの参加

管理栄養学科4年次生 野澤 勇気

昨年度の新生歓迎会にて柴又神明会の石川宏太会長に特別講演をして頂いた縁で、学生への協力依頼があり、平成22年9月25日（土）に柴又駅前広場・帝釈天にて開催された「大正ロマン・柴又宵まつり」に学生10名が参加協力をした。

学生は浴衣や甚平姿で参加し、場内整理やアンケート用紙・PRチラシの配布、仮装行列の先導などを担当した。昔懐かしい大正時代の雰囲気や漂う中、伝統文化や当時の音楽などに触れることが出来た。

その際、学生のリーダー役を務めた中山亮太さんが「わたなべ奨学・奨励基金、地域貢献賞」を受賞し、平成23年3月22日に挙行された学位記授与式において表彰状が授与された。



図書館新システム

管理栄養学科3年次生 川口 真由美

今年から図書館の内装が変わり、図書館セキュリティシステム（ブックディテクションシステム）が導入され、学生証のバーコードで入退館が管理されるようになった。

また、観葉植物の設置や自習機が増設されるなど、より快適に図書館を利用できるようになった。



発行 東京聖栄大学

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL : 03-3692-0211 (代)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/>